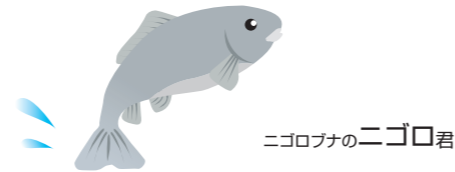


魚のゆりかご水田カレンダー

滋賀県では、農村地域の水質と生態系保全のための取組の全体構想である「みずすまし構想」の一環で「魚のゆりかご水田」を進めています。これからも、生命あふれるゆたかな「里」の環境を子や孫に引き継いでいくため住民参加による魚道づくりや、魚の生息環境に配慮した農業への取り組みを推進します。

稲作曆にあわせ、魚のゆりかご水田に必要な水管理の方法や、魚のゆりかご水田で見ることができる魚の遡上・産卵、稚魚の育成の様子について、ニゴロブナのニゴロ君と農家の鮒夫さんが紹介します。



10月 魚道設置

● 産卵できる田んぼはどこ?

間伐材による魚道づくり

4月 魚道の点検・堰板設置

● 琵琶湖の水もきれいにしとね

代かき前の堰板設置

5月 代かき・田植え

● 田んぼで長く過ごしたいな

魚の遡上を待つ魚道と田んぼ

● うまく上れるかな

排水路を遡上するフナ

● 田んぼへ早く入りたいな

排水路から田んぼへ入るフナ

● 田んぼに入るとすぐに産卵するよ

田んぼで産卵するフナ

魚が田んぼで産卵できるよう、みんなで魚道をつくります。

魚道には、田んぼからの濁水を抑える機能もあるので、代かき前に堰板をはめます。

田植え時期をそろえます。除草剤をまく場合は、時期や回数などに配慮します。

少しの雨でも遡上しやすい魚道の仕組みとなっています。

魚が田んぼへ入りやすいような一筆排水の管理を行います。

人口魚巢に産み付けられたフナ卵



6月中旬 きめ細やかな水管理

● 約2.3日で卵からふ化するよ

ふ化したてのニゴロブナの仔魚

● 田んぼって居心地がいいね

稚魚遊泳

● まもなく田んぼから出ていく時期だよ

溝切り

● 田んぼで育った稚魚が無事に琵琶湖へ流下できるよう皆さん協力して下さい

魚道堰板の撤去

● 田んぼから一筆排水を通り排水路へ流下する稚魚

● 農家や地域の皆さんどうもありがとう

一筆排水の出口で落ちてくる稚魚を観察する子どもたち

田んぼには魚の成長に必要なプランクトンがたくさんいます。

中干しまでは田んぼの水を深めにしておきます。

稚魚が田んぼから排水路へ流下できるよう溝切りなどを行います。

稚魚が琵琶湖へ流下できるよう魚道の堰板をはずします。

一筆排水の出口で落ちてくる稚魚を観察する子どもたち